山梨県強靱化年次計画2026　重要業績指標（KPI）一覧

● 進捗率評価

対象となる大規模自然災害	対策名（最悪の事態）	No	重要業績指標（KPI）	所管課	施策表	初期値	実績値		目標値	R7目標値に対する進捗率 （R7実績値−初期値）/（R7目標値−初期値）	評価	計画最終年度目標値（R10目標値）	計画最終年度目標値（R10目標値）達成見込み
						R5	R6	R7	R7				達成に向けた見通し、課題、方針、対策など
地震	耐震化等の対策 （1－1） （1－2）	1	私立学校の耐震化率	まなび支援課、子育て・次世代サポート課	県民7	90.8%	92.1%	92.9%	93.7%	72.4%	C	100%	施設の安全確保を図るため、耐震化の必要性や補助制度についての情報提供、助言を行っていく。また、国に対して補助の拡充を要望していく。
		2	県内病院（59病院）の耐震化完了施設数	医務課	福祉14	52病院	52病院	52病院	52病院	−	−	54病院	対象となる各施設の整備計画について、具体化に向けた対応方針の再確認と必要に応じた支援を講じることにより、計画期間内の達成を目指す。
		3	県内病院のBCP作成施設数	医務課	福祉21	51施設	56施設	57施設	57施設	100.0%	A	59施設	年間2、3施設の増加を計画しているところ、R5年度からR7年度において着実に増加してきた。対象となる病院に引き続き働きかけを行うことで目標を達成できる見通し。
		4	重要施設に接続する水道管の耐震適合率	上下水道政策課	県土51	42%	45%	45% （R6）	44% （R6）	150.0% （R6）	A	50%	順調に進捗しており、R10目標値を達成できる見込み。
		5	電柱倒壊による道路閉塞のリスクがある市街地において重要拠点を結ぶ緊急輸送道路の無電柱化整備率	道路整備課、道路管理課、都市計画課	県土10	58%	64%	70%	66%	150.0%	A	79%	順調に進捗しており、R10目標値を達成できる見込み。
		6	緊急輸送道路の橋梁及び跨線橋・跨道橋の耐震化率	道路管理課	県土16	58%	66%	72%	72%	100.0%	A	R9 100%	順調に進捗しており、R9目標値を達成できる見込み。
		7	長寿命化のために必要な補修に着手できている橋梁の割合	道路管理課	県土17	61%	67%	81%	79%	111.1%	A	R9 100%	順調に進捗しており、R9目標値を達成できる見込み。
		8	防災公園整備計画における防災活動拠点の機能強化に必要な都市公園施設の整備率	景観まちづくり室	県土35	73%	100%	−	−	−	A	R6 100%	計画的に施設整備を行い、R6年度に目標を達成した。
		9	下水道管路施設の耐震化率	上下水道政策課	県土41	96%	97%	99%	100%	75.0%	C	R8 100%	耐震化計画は概ね計画どおり進捗しており、R8目標値を達成できる見込み。
		10	住宅の耐震化率	建築住宅課	県土43	−	−	90.1%	95%	94.8%	B	R10 目標値なし	市町村の福祉部局と連携した高齢者世帯へのきめ細やかな相談支援や、低コストな耐震化工法の普及を図ることにより、住宅の耐震化を一層促進する。
		11	県営住宅の長寿命化住戸数	住宅対策室	県土47	685戸	721戸	849戸	730戸	364.4%	A	1,051戸	事業の進捗が順調であり、R7年度も目標値に対して実績が上回っていることから、R10目標値を達成できる見込み。
		12	登山道・遊歩道の吊橋の長寿命化工事完了箇所数	観光振興グループ	観光3	1橋	1橋	3橋	3橋	100.0%	A	R7 3橋	R6年度に完了予定だった1橋は適正な工期を確保するためR7年度に繰り越すこととなったが、当初の計画どおり、R7年度に達成

● 進捗率評価

対象となる大規模自然災害	対策名（最悪の事態）	No	重要業績指標（KPI）	所管課	施策表	初期値	実績値		目標値	R7目標値に対する進捗率	評価	計画最終年度目標値（R10目標値）	計画最終年度目標値（R10目標値）達成見込み
						R5	R6	R7	R7	（R7実績値−初期値）/（R7目標値−初期値）			達成に向けた見通し、課題、方針、対策など
地震	耐震化等の対策 （1－1） （1－2）	13	国・県指定有形文化財（建造物）のうち今後耐震補強が必要となる97件の耐震対策実施棟数	文化振興・文化財課	観光4	17棟	18棟	18棟	22棟	20.0%	C	28棟	所有者に多額の費用が発生することから計画に遅れが出ることも危惧されるが、所有者の耐震事業への意識を促進することで、目標達成を目指していく。
		14	県立学校における非構造部材の耐震対策実施学校数	学校施設課	教育1	20校 （50%）	20校 （50%）	31校 （77.5 %）	39校 （97.5 %）	57.9%	C	R8 40校 （100%）	工事は概ね計画どおり進捗しており、R8目標値を達成できる見込み。
	土砂災害等による陸の孤島化対策 （1－4） （2－2） （2－6） （5－5）	15	受援計画を策定した市町村数	防災危機管理課	防災36	15市町村	17市町村	20市町村	22市町村	71.4%	C	R8 27市町村	未策定の市町村を対象に県独自のアンケート調査を実施し、課題を把握するとともに、引き続き、国と連携しつつ、市町村における計画策定支援のための取り組みを継続的に実施する。
		16	EMIS（広域災害救急医療情報システム）へ加入した有床診療所数	医務課	福祉15	13施設	13施設	27施設	27施設	100.0%	A	27施設	R7年度に導入された新EMISの運用開始に伴い、これまで未加入となっていた有床診療所が登録されたことにより目標を達成することができた。
		17	重要施設に接続する水道管の耐震適合率【再掲】	上下水道政策課	県土51	42%	45%	45% （R6）	44% （R6）	150.0% （R6）	A	50%	順調に進捗しており、R10目標値を達成できる見込み。
		18	計画又は独自のマニュアルに、栄養・食生活支援について明記している市町村数	健康増進課	福祉27	14市町村	14市町村	16市町村	18市町村	50.0%	C	27市町村	R8は目標値を達成できる見込み。R10年度に向けては明文化した「記載の有無」の判断基準をもとに市町村支援を行い、マニュアルへの記載につなげていく。
		19	生活必需物資(食料)提供にかかる協定締結社数	産業政策課	産業3	21社	23社	24社	24社	100.0%	A	27社	引き続き大規模小売店舗の立地に併せた働きかけを実施し、協定締結につなげていく。
		20	山地災害危険地区の対策地区数	治山林道課	森林10	2,401地区	2,417地区	2,433地区	2,432地区	103.2%	A	2,477地区	順調に進捗しており、R10目標値を達成できる見込み。
		21	災害時の代替輸送路線延長	治山林道課	森林11	273.0km	273.6km	274.0km	275.4km	41.7%	C	278.6km	橋梁工事中は一時的に進捗が目標値を下回るが、完成後は進捗の回復が見込まれるため、R10目標値を達成できる見込み。
		22	山村地域集落の孤立防止路線延長	治山林道課	森林11	88.8km	89.4km	89.8km	89.9km	90.9%	B	91.6km	順調に進捗しており、R10目標値を達成できる見込み。
		23	林道施設の補修箇所数	治山林道課	森林12	185箇所	192箇所	199箇所	199箇所	100.0%	A	220箇所	順調に進捗しており、R10目標値を達成できる見込み。
		24	治山施設の補修箇所数	治山林道課	森林13	131箇所	136箇所	141箇所	141箇所	100.0%	A	156箇所	順調に進捗しており、R10目標値を達成できる見込み。
		25	登山道・遊歩道の吊橋の長寿命化工事完了箇所数【再掲】	観光振興グループ	観光3	1橋	1橋	3橋	3橋	100.0%	A	R7 3橋	R6年度に完了予定だった1橋は適正な工期を確保するためR7年度に繰り越すこととなったが、当初の計画どおり、R7年度に達成。

● 進捗率評価

対象となる大規模自然災害	対策名（最悪の事態）	No	重要業績指標（KPI）	所管課	施策表	初期値	実績値		目標値	R7目標値に対する進捗率	評価	計画最終年度目標値（R10目標値）	計画最終年度目標値（R10目標値）達成見込み
						R5	R6	R7	R7	（R7実績値−初期値）/（R7目標値−初期値）			達成に向けた見通し、課題、方針、対策など
地震	土砂災害等による陸の孤島化対策 （1－4） （2－2） （2－6） （5－5）	26	耐震対策済の農業用ため池数	耕地課	農政10	62箇所	66箇所	69箇所	71箇所	77.8%	C	83箇所	概ね計画どおり進捗しており、R10目標値を達成できる見込み。
		27	農業用水利施設等の整備済箇所数	耕地課	農政11	44箇所	47箇所	50箇所	50箇所	100.0%	A	59箇所	順調に進捗しており、R10目標値を達成できる見込み。
		28	機能強化が必要な緊急輸送道路となる幹線道路の整備延長	道路整備課、高速道路推進課、都市計画課	県土4	27.8km	29.7km	36.1km	36.4km	96.5%	B	52.3km	順調に進捗しており、R10目標値を達成できる見込み。
		29	広域的な幹線道路の寸断に備えたリダンダンシーを有する道路網の整備延長(新規整備箇所)	道路整備課	県土7	21.8km	23.7km	26.5km	27.9km	77.0%	C	32.3km	概ね計画どおり進捗しており、R10目標値を達成できる見込み。
		30	道路防災危険箇所の対策箇所数	道路管理課	県土14	53箇所	56箇所	62箇所	60箇所	128.6%	A	80箇所	順調に進捗しており、R10目標値を達成できる見込み。
		31	緊急輸送道路の橋梁及び跨線橋・跨道橋の耐震化率 【再掲】	道路管理課	県土16	58%	66%	72%	72%	100.0%	A	R9 100%	順調に進捗しており、R9目標値を達成できる見込み。
		32	長寿命化のために必要な補修に着手できている橋梁の割合【再掲】	道路管理課	県土17	61%	67%	81%	79%	111.1%	A	R9 100%	順調に進捗しており、R9目標値を達成できる見込み。
		33	人家の多い土砂災害特別警戒区域において施設対策が完了した区域数	砂防課	県土29	0区域	1区域	2区域	2区域	100.0%	A	5区域	順調に進捗しており、R10目標値を達成できる見込み。
		34	下水道管路施設の耐震化率【再掲】	上下水道政策課	県土41	96%	97%	99%	100%	75.0%	C	R8 100%	耐震化計画は概ね計画どおり進捗しており、R8目標値を達成できる見込み。
		35	信号機電源付加装置の更新・設置（令和5年度を基準とし対象235基）	警察本部・交通規制課	警察4	7基 （108基）	5基 （113基）	7基 （120基）	7基 （120基）	100.0%	A	7基 （141基）	順調に進捗しており、R10目標値を達成できる見込み。
富士山火山噴火	富士山火山噴火対策 （1－5） （2－4）	36	広域的な幹線道路の寸断に備えたリダンダンシーを有する道路網の整備延長(新規整備箇所)【再掲】	道路整備課	県土7	21.8km	23.7km	26.5km	27.9km	77.0%	C	32.3km	概ね計画どおり進捗しており、R10目標値を達成できる見込み。
		37	人家の多い土砂災害特別警戒区域において施設対策が完了した区域数【再掲】	砂防課	県土29	0区域	1区域	2区域	2区域	100.0%	A	5区域	順調に進捗しており、R10目標値を達成できる見込み。
		38	重要施設に接続する水道管の耐震適合率【再掲】	上下水道政策課	県土51	42%	45%	45% （R6）	44% （R6）	150.0% （R6）	A	50%	順調に進捗しており、R10目標値を達成できる見込み。

● 進捗率評価

対象となる大規模自然災害	対策名（最悪の事態）	No	重要業績指標（KPI）	所管課	施策表	初期値	実績値		目標値	R7目標値に対する進捗率	評価	計画最終年度目標値（R10目標値）	計画最終年度目標値（R10目標値）達成見込み
						R5	R6	R7	R7	（R7実績値−初期値）/（R7目標値−初期値）			達成に向けた見通し、課題、方針、対策など
豪雨・豪雪	水害対策（1－3）	39	県内病院のBCP作成施設数【再掲】	医務課	福祉21	51施設	56施設	57施設	57施設	100.0%	A	59施設	年間2、3施設の増加を計画しているところ、R5年度からR7年度において着実に増加してきた。対象となる病院に引き続き働きかけを行うことで目標を達成できる見込み。
		40	河川整備計画における河川の整備率	治水課	県土20	63%	65%	67%	66%	133.3%	A	73%	順調に進捗しており、R10目標値を達成できる見込み。継続的な予算確保及び計画的な事業執行に努める。
		41	中小河川の洪水浸水想定区域図を作成した市町村数	治水課	県土21	20市町村	22市町村	26市町村	26市町村	100.0%	A	R7 26市町村	R7年度末までに目標値を達成した。
		42	耐震対策済の農業用ため池数【再掲】	耕地課	農政10	62箇所	66箇所	69箇所	71箇所	77.8%	C	83箇所	概ね計画どおり進捗しており、R10目標値を達成できる見込み。
		43	浸水・浸食被害を防ぐ農業用水利施設等の整備箇所数	耕地課	農政12	5箇所	5箇所	8箇所	8箇所	100.0%	A	9箇所	順調に進捗しており、R10目標値を達成できる見込み。
	土砂災害等による陸の孤島化対策	44	（上記地震と同様）										
すべての災害に関連する事項	救助・救急活動体制、保健医療救護体制の充実強化（2－1）	45	各市町村が優先度が高いと判断した者の個別避難計画作成率	防災危機管理課、福祉保健総務課、健康長寿推進課、障害福祉課、健康増進課	防災16	6%	7%	9.9%	40%	11.5%	C	100%	各自治体が抱える課題に沿った情報交換の場や個別支援の実施を継続する。 現在市町村はハザード上リスクの高い地域の者、医療機器を使用している者など優先順位を考慮してすすめている。 自治会への加入者が減少し、独居の要支援者が増える中、地域で支援者を確保するためには、住民の理解を得るプロセスがより重要となっている。このため、市町村が自助共助を促しながら持続的に取り組むことが重要。 また、医療・介護等の支援者の協力が得にくいため、福祉部局と連携して支援団体等の理解促進と策定への協力要請に取り組む。
		46	養成・確保した救急救命士数	消防保安課	防災44	332人	345人	358人	352人	130.0%	A	382人	救急救命士の養成は、毎年10人以上達成しており、各消防本部で定年退職の救急救命士を補填するため積極的に資格取得を促しており、今後も増員が見込まれる。
		47	県内病院（59病院）の耐震化完了施設数【再掲】	医務課	福祉14	52病院	52病院	52病院	52病院	−	−	54病院	対象となる各施設の整備計画について、具体化に向けた対応方針の再確認と必要に応じた支援を講じることにより、計画期間内の達成を目指す。
		48	EMIS（広域災害救急医療情報システム）へ加入した有床診療所数【再掲】	医務課	福祉15	13施設	13施設	27施設	27施設	100.0%	A	27施設	R7年度に導入された新EMISの運用開始に伴い、これまで未加入となっていた有床診療所が登録されたことにより目標を達成することができた。
		49	災害医療コーディネーター数	医務課	福祉17	20名	22名	27名	26名	116.7%	A	32名	本県に配分された受講枠に応じた受講者を推薦し、毎年度、着実に養成できていることから、目標を達成できる見込み。

● 進捗率評価

対象となる大規模自然災害	対策名（最悪の事態）	No	重要業績指標（KPI）	所管課	施策表	初期値	実績値		目標値	R7目標値に対する進捗率	評価	計画最終年度目標値（R10目標値）	計画最終年度目標値（R10目標値）達成見込み
						R5	R6	R7	R7	（R7実績値−初期値）/（R7目標値−初期値）			達成に向けた見通し、課題、方針、対策など
すべての災害に関連する事項	救助・救急活動体制、保健医療救護体制の充実強化（2－1）	50	県内病院のBCP作成施設数【再掲】	医務課	福祉21	51施設	56施設	57施設	57施設	100.0%	A	59施設	年間2、3施設の増加を計画しているところ、R5年度からR7年度において着実に増加してきた。対象となる病院に引き続き働きかけを行うことで目標を達成できる見通し。
		51	災害派遣精神医療チーム数	健康増進課	福祉26	13チーム	17チーム	20チーム	20チーム	100.0%	A	20チーム以上	DPATの活動に必要な資器材の整備に要する経費の補助等を行うことで登録チームの拡大を図るとともに、既存登録チームの能力の維持向上に向けた取組みの検討を行う。
		52	透析患者受入調整のネットワークが整備できた圏域数	健康増進課	福祉28	0圏域	1圏域	5圏域	2圏域	250.0%	A	5圏域	透析医会において同医会の中に山梨県透析危機管理対策協議会（YDCC）を設置することが了承され部会を設置し、システムの導入が完了している。今後も対象医療機関の増加等の変化に対応しながら、県内での安定的な体制を整備するための訓練や関係機関の意識向上に向け取り組んでいく。
	（3－2：行政機関の職員・施設等の被災による機能の大幅な低下）	53	信号機電源付加装置の更新・設置（令和5年度を基準とし対象235基）【再掲】	警察本部・交通規制課	警察4	7基（108基）	5基（113基）	7基（120基）	7基（120基）	100.0%	A	7基（141基）	順調に進捗しており、R10目標値を達成できる見込み。
		54	県下12警察署が確保した代替施設数（合計）	警察本部・警備第二課	警察7	23箇所	25箇所	25箇所	26箇所	66.7%	C	R8 26箇所	目標値を達成した場合であっても警察署、代替施設がハザードマップ内に所在する場合は、更なる代替施設借り上げ協定の締結を推進する。
	食料の安定供給（4－4）	55	生活必需物資(食料)提供にかかる協定締結社数【再掲】	産業政策課	産業3	21社	23社	24社	24社	100.0%	A	27社	引き続き大規模小売店舗の立地に併せた働きかけを実施し、協定締結につなげていく。
		56	荒廃農地解消面積	担い手・農地対策課、耕地課	農政16	3,267ha	3,382ha	3,382ha（R6）	3,500ha（R6）	49.4%（R6）	C	4,300ha	農地中間管理機構等の活用を一層推進し、企業を含む担い手のニーズに対応した農地集積・集約化を強化することで、R10目標値を達成できる見込み。
		57	果樹産地等における基盤整備面積	耕地課	農政17	4,803ha	4,903ha	5,003ha	5,000ha	101.5%	A	5,300ha	順調に進捗しており、R10目標値を達成できる見込み。
	エネルギー供給体制の強化（5－2）（5－3）	58	電柱倒壊による道路閉塞のリスクがある市街地において重要拠点を結ぶ緊急輸送道路の無電柱化整備率【再掲】	道路整備課、道路管理課、都市計画課	県土10	58%	64%	70%	66%	150.0%	A	79%	順調に進捗しており、R10目標値を達成できる見込み。
		59	PHV・EV・FCV導入台数	地域エネルギー推進室	森林25	4,137台	4,727台	4,727台（R6）	4,275台（R6）	427.5%（R6）	A	7,480台	近年、EV軽自動車や比較的低価格なEVの販売が開始されていることに加え、急速充電設備等のインフラ整備が進展していることから、今後の導入拡大が見込まれる。このため、各種施策を通じて、引き続き目標達成を目指していく。
		60	住宅用太陽光発電（10kW未満）の導入出力	地域エネルギー推進室	森林23	176,858kW	187,133KW	200,279kw	272,000kW	24.6%	C	359,000kW	カーボンニュートラルの実現に向けた高い目標であるが、各種施策を通じて、設置を拡大させていく。 また、固定価格買取制度を活用していない設備についても把握できるよう、引き続き国への要望を行っていく。

● 進捗率評価

対象となる大規模自然災害	対策名（最悪の事態）	No	重要業績指標（KPI）	所管課	施策表	初期値	実績値		目標値	R7目標値に対する進捗率	評価	計画最終年度目標値（R10目標値）	計画最終年度目標値（R10目標値）達成見込み
						R5	R6	R7	R7	（R7実績値−初期値）/（R7目標値−初期値）			達成に向けた見通し、課題、方針、対策など
すべての災害に関連する事項	エネルギー供給体制の強化（５−２）（５−３）	61	小水力発電推進事業における施設の整備地点数	電気課	企業1	6地点	6地点	6地点	7地点	0.0%	C	8地点	目標に向けて計画的に進めているが、関係機関との協議により計画の見直しが必要となることも考えられるため、進捗管理に留意して協議を行っていく。R8に深城第二発電所は建設予定。
		62	自立電源機能が追加された県営水力発電所が所在する市町村数	電気課	企業3	3市町村	3市町村	3市町村	3市町村	−	−	5市町村	長期改修計画に基づき進捗しており、R10目標値を達成できる見込み。
	地域交通ネットワークの維持（５−５）	63	災害時の代替輸送路線延長【再掲】	治山林道課	森林11	273.0km	273.6km	274.0km	275.4km	41.7%	C	278.6km	橋梁工事中は一時的に進捗が目標値を下回るが、完成後は進捗の回復が見込まれるため、R10目標値を達成できる見込み。
		64	山村地域集落の孤立防止路線延長【再掲】	治山林道課	森林11	88.8km	89.4km	89.8km	89.9km	90.9%	B	91.6km	順調に進捗しており、R10目標値を達成できる見込み。
		65	林道施設の補修箇所数【再掲】	治山林道課	森林12	185箇所	192箇所	199箇所	199箇所	100.0%	A	220箇所	順調に進捗しており、R10目標値を達成できる見込み。
		66	機能強化が必要な緊急輸送道路となる幹線道路の整備延長【再掲】	道路整備課、高速道路推進課、都市計画課	県土4	27.8km	29.7km	36.1km	36.4km	96.5%	B	52.3km	順調に進捗しており、R10目標値を達成できる見込み。
		67	広域的な幹線道路の寸断に備えたリダンダンシーを有する道路網の整備延長(新規整備箇所)【再掲】	道路整備課	県土7	21.8km	23.7km	26.5km	27.9km	77.0%	C	32.3km	概ね計画どおり進捗しており、R10目標値を達成できる見込み。
		68	道路防災危険箇所の対策箇所数【再掲】	道路管理課	県土14	53箇所	56箇所	62箇所	60箇所	128.6%	A	80箇所	順調に進捗しており、R10目標を達成できる見込み。
		69	緊急輸送道路の橋梁及び跨線橋・跨道橋の耐震化率【再掲】	道路管理課	県土16	58%	66%	72%	72%	100.0%	A	R9 100%	順調に進捗しており、R9目標値を達成できる見込み。
		70	長寿命化のために必要な補修に着手できている橋梁の割合【再掲】	道路管理課	県土17	61%	67%	81%	79%	111.1%	A	R9 100%	順調に進捗しており、R9目標値を達成できる見込み。
		71	主要な都市計画道路の整備率	都市計画課	県土36	80.3%	80.6%	81.0%	80.9%	116.7%	A	83.6%	計画的に施設整備を行い、目標達成を目指す。

● 進捗率評価

対象となる大規模自然災害	対策名（最悪の事態）	No	重要業績指標（KPI）	所管課	施策表	初期値	実績値		目標値	R7目標値に対する進捗率	評価	計画最終年度目標値（R10目標値）	計画最終年度目標値（R10目標値）達成見込み
						R5	R6	R7	R7	（R7実績値−初期値）/（R7目標値−初期値）			達成に向けた見通し、課題、方針、対策など
すべての災害に関連する事項	防災教育・普及啓発の推進（リスクコミュニケーション）	72	地域防災リーダー養成講座受講者数	防災危機管理課	防災10	7,145人	7,474人	7,730人	7,780人	92.1%	B	8,680人	地域県民センターと協力しながらコミュニティレベルでの地域防災力強化に取り組む。
		73	地区防災計画を作成済みの自主防災組織が存在する市町村数	防災危機管理課	防災37	10市町村	11市町村	11市町村	17市町村	14.3%	C	27市町村	従来の周知や情報提供に加え、防災リーダーを対象とした研修会の開催や先進事例の紹介、計画策定に関する個別相談等を実施し、地域の実情に応じた地区防災計画の作成促進を図る。
		74	耐震対策済の農業用ため池数【再掲】	耕地課	農政10	62箇所	66箇所	69箇所	71箇所	77.8%	C	83箇所	概ね計画どおり進捗しており、R10目標値を達成できる見込み。
		75	中小河川の洪水浸水想定区域図を作成した市町村数【再掲】	治水課	県土21	20市町村	22市町村	26市町村	26市町村	100.0%	A	R7 26市町村	R7年度末までに目標値を達成した。
その他最悪の事態に係る事項	（1－3：突発的又は広域的な洪水に伴う長期的な市街地等の浸水による多数の死傷者の発生）	76	耐震対策済の農業用ため池数【再掲】	耕地課	農政10	62箇所	66箇所	69箇所	71箇所	77.8%	C	83箇所	概ね計画どおり進捗しており、R10目標値を達成できる見込み。
	（2－3：劣悪な避難生活環境、不十分な健康管理がもたらす、多数の被災者の健康・心理状態の悪化による死者の発生）	77	各市町村が優先度が高いと判断した者の個別避難計画作成率【再掲】	防災危機管理課、福祉保健総務課、健康長寿推進課、障害福祉課、健康増進課	防災16	6%	7%	9.9%	40%	11.5%	C	100%	各自治体が抱える課題に沿った情報交換の場や個別支援の実施を継続する。 現在市町村はハザード上リスクの高い地域の者、医療機器を使用している者など優先順位を考慮してすすめている。 自治会への加入者が減少し、独居の要支援者が増える中、地域で支援者を確保するためには、住民の理解を得るプロセスがより重要となっている。このため、市町村が自助共助を促しながら持続的に取り組むことが重要。
		78	EMIS（広域災害救急医療情報システム）へ加入した有床診療所数【再掲】	医務課	福祉15	13施設	13施設	27施設	27施設	100.0%	A	27施設	R7年度に導入された新EMISの運用開始に伴い、これまで未加入となっていた有床診療所が登録されたことにより目標を達成することができた。
		79	重要施設に接続する水道管の耐震適合率【再掲】	上下水道政策課	県土51	42%	45%	45% （R6）	44% （R6）	150.0% （R6）	A	50%	順調に進捗しており、R10目標値を達成できる見込み。
		80	下水道管路施設の耐震化率【再掲】	上下水道政策課	県土41	96%	97%	99%	100%	75.0%	C	R8 100%	耐震化計画は概ね計画どおり進捗しており、R8目標値を達成できる見込み。
		81	災害派遣精神医療チーム数【再掲】	健康増進課	福祉26	13チーム	17チーム	20チーム	20チーム	100.0%	A	20チーム以上	DPATの活動に必要な資器材の整備に要する経費の補助等を行うことで登録チームの拡大を図るとともに、既存登録チームの能力の維持向上に向けた取組みの検討を行う。
		82	計画又は独自のマニュアルに、栄養・食生活支援について明記している市町村数【再掲】	健康増進課	福祉27	14市町村	14市町村	16市町村	18市町村	50.0%	C	27市町村	R8は目標値を達成できる見込み。R10年度に向けては明文化した「記載の有無」の判断基準をもとに市町村支援を行い、マニュアルへの記載につなげていく。

● 進捗率評価

対象となる大規模自然災害	対策名（最悪の事態）	No	重要業績指標（KPI）	所管課	施策表	初期値	実績値		目標値	R7目標値に対する進捗率 （R7実績値−初期値）/（R7目標値−初期値）	評価	計画最終年度目標値（R10目標値）	計画最終年度目標値（R10目標値）達成見込み
						R5	R6	R7	R7				達成に向けた見通し、課題、方針、対策など
その他最悪の事態に係る事項	（2－3：劣悪な避難生活環境、不十分な健康管理がもたらす、多数の被災者の健康・心理状態の悪化による死者の発生）	83	住宅の耐震化率 【再掲】	建築住宅課	県土43	−	−	90.1%	95%	94.8%	B	R10 目標値なし	市町村の福祉部局と連携した高齢者世帯へのきめ細やかな相談支援や、低コストな耐震化工法の普及を図ることにより、住宅の耐震化を一層促進する。
		84	県立学校における非構造部材の耐震対策実施学校数【再掲】	学校施設課	教育1	20校 （50%）	20校 （50%）	31校 （77.5 %）	39校 （97.5 %）	57.9%	C	R8 40校 （100%）	工事は概ね計画どおり進捗しており、R8目標値を達成できる見込み。
	（2－4：被災地での食料・飲料水・電力・燃料等、生命に関わる物資・エネルギー供給の停止）	85	重要施設に接続する水道管の耐震適合率【再掲】	上下水道政策課	県土51	42%	45%	45% （R6）	44% （R6）	150.0% （R6）	A	50%	順調に進捗しており、R10目標値を達成できる見込み。
	（2－6：多数かつ長期にわたる孤立地域等の同時発生）	86	山村地域集落の孤立防止路線延長 【再掲】	治山林道課	森林11	88.8km	89.4km	89.8km	89.9km	90.9%	B	91.6km	順調に進捗しており、R10目標値を達成できる見込み。
	（4－1：サプライチェーンの寸断・一極集中等による企業の生産力・経営執行力低下による国際競争力の低下）	87	県内中小企業の「事業継続力強化計画」認定数	産業政策課	産業1	683件	743件	978件	1,100件	70.5%	C	R8 1,200件	従来の個社支援に加え、業界団体やサプライチェーン構成企業など、企業グループに対する支援を強化し、目標達成に向けて注力をしていく。
		88	「事業継続力強化支援計画」策定数	産業政策課	産業2	24団体	25団体	25団体	25団体	100.0%	A	25団体	R6年度に達成。 ※対象は2商工会議所・23商工会
	エネルギー供給体制の強化 （5－2） （5－3）	89	小水力発電推進事業における施設の整備地点数【再掲】	電気課	企業1	6地点	6地点	6地点	7地点	0.0%	C	8地点	目標に向けて計画的に進めているが、関係機関との協議により計画の見直しが必要となることも考えられるため、進捗管理に留意して協議を行っていく。R8に深城第二発電所は建設予定。
		90	自立電源機能が追加された県営水力発電所が所在する市町村数 【再掲】	電気課	企業3	3市町村	3市町村	3市町村	3市町村	−	−	5市町村	長期改修計画に基づき進捗しており、R10目標値を達成できる見込み。
		91	水力発電による供給電力量 【再掲】	電気課	企業2	438,768,590 kWh/年	493,874,917 kWh/年	398,166,798 kWh/年	475,732,300 kWh/年	83.7%	B	462,648,000k Wh/年	実績は降水量に影響されるが、発電所の停止を最小限にとどめ、目標値を達成する見通し。今後も各発電設備・施設の計画的な改修・補修と共に最大限の取水に取り組み、電力を安定的に供給していく。
	（5－4：上下水道施設の長期間にわたる機能停止）	92	重要施設に接続する水道管の耐震適合率【再掲】	上下水道政策課	県土51	42%	45%	45% （R6）	44% （R6）	150.0% （R6）	A	50%	順調に進捗しており、R10目標値を達成できる見込み。
		93	下水道管路施設の耐震化率 【再掲】	上下水道政策課	県土41	96%	97%	99%	100%	75.0%	C	R8 100%	耐震化計画は概ね計画どおり進捗しており、R8目標値を達成できる見込み。

● 進捗率評価

対象となる大規模自然災害	対策名（最悪の事態）	No	重要業績指標（KPI）	所管課	施策表	初期値	実績値		目標値	R7目標値に対する進捗率	評価	計画最終年度目標値（R10目標値）	計画最終年度目標値（R10目標値）達成見込み
						R5	R6	R7	R7	（R7実績値−初期値）/（R7目標値−初期値）			達成に向けた見通し、課題、方針、対策など
その他最悪の事態に係る事項	地域交通ネットワークの維持（５－５）	94	重要施設に接続する水道管の耐震適合率【再掲】	上下水道政策課	県土51	42%	45%	45%（R6）	44%（R6）	150.0%（R6）	A	50%	順調に進捗しており、R10目標値を達成できる見込み。
		95	下水道管路施設の耐震化率【再掲】	上下水道政策課	県土41	96%	97%	99%	100%	75.0%	C	R8 100%	耐震化計画は概ね計画どおり進捗しており、R8目標値を達成できる見込み。
	（6－1：自然災害後の地域のより良い復興に向けた事前復興ビジョンや地域合意の欠如等により、復興が大幅に遅れ地域が衰退する事態） （6－2：災害対応・復旧復興を支える人材等の不足等により復興できなくなる事態	96	地域防災リーダー養成講座受講者数【再掲】	防災危機管理課	防災10	7,145人	7,474人	7,730人	7,780人	92.1%	B	8,680人	地域県民センターと協力しながらコミュニティレベルでの地域防災力強化に取り組む。
		97	各市町村が優先度が高いと判断した者の個別避難計画作成率【再掲】	防災危機管理課、福祉保健総務課、健康長寿推進課、障害福祉課、健康増進課	防災16	6%	7%	9.9%	40%	11.5%	C	100%	各自治体が抱える課題に沿った情報交換の場や個別支援の実施を継続する。 現在市町村はハザード上リスクの高い地域の者、医療機器を使用している者など優先順位を考慮してすすめている。 自治会への加入者が減少し、独居の要支援者が増える中、地域で支援者を確保するためには、住民の理解を得るプロセスがより重要となっている。このため、市町村が自助共助を促しながら持続的に取り組むことが重要。
		98	地区防災計画を作成済みの自主防災組織が存在する市町村数【再掲】	防災危機管理課	防災37	10市町村	11市町村	11市町村	17市町村	14.3%	C	27市町村	従来の周知や情報提供に加え、防災リーダーを対象とした研修会の開催や先進事例の紹介、計画策定に関する個別相談等を実施し、地域の実情に応じた地区防災計画の作成促進を図る。
		99	消防団員の充足率	消防保安課	防災46	88.1%	87.2%	88.1%	88.6%	0.0%	C	89.5%	多様な人材が消防団に参加できるよう確保対策を行い、処遇改善などを更に市町村に働きかけることで消防団の充足率を高める。
	（6－3：大量に発生する災害廃棄物の処理の停滞により復旧・復興が大幅に遅れる事態）	100	災害廃棄物処理計画の点検や見直しを実施した市町村数	環境整備課	森林19	2市町村	27市町村	27市町村	27市町村	100.0%	A	27市町村	国の災害廃棄物処理計画策定・改定ガイドライン（R5,4月）に基づく点検等の必要性について十分な周知を図ることで、R7年度までにはすべての市町村において点検が実施された。今後は必要に応じて速やかに見直しが実施されるよう、県としても技術的助言を行っていく。
		101	住宅の耐震化率【再掲】	建築住宅課	県土43	－	－	90.1%	95%	94.8%	B	R10 目標値なし	市町村の福祉部局と連携した高齢者世帯へのきめ細やかな相談支援や、低コストな耐震化工法の普及を図ることにより、住宅の耐震化を一層促進する。
	（6－5：貴重な文化財や環境的資産の喪失、地域コミュニティの崩壊等による有形・無形の文化財の衰退・損失）	102	国・県指定有形文化財（建造物）のうち今後耐震補強が必要となる97件の耐震対策実施棟数【再掲】	文化振興・文化財課	観光4	17棟	18棟	18棟	22棟	20.0%	C	28棟	所有者に多額の費用が発生することから計画に遅れが出ることも危惧されるが、所有者の耐震事業への意識を促進することで、目標達成を目指していく。

山梨県強靱化年次計画2026　重要業績指標（KPI）一覧

● 達成率評価

対象となる大規模自然災害	対策名（最悪の事態）	No	重要業績指標（KPI）	所管課	施策表	初期値	実績値		目標値	R7目標値に対する達成率	評価	計画最終年度目標値（R10目標値）	計画最終年度目標値（R10目標値）達成見込み
						R5	R6	R7	R7	R7実績値/R7目標値			達成に向けた見通し、課題、方針、対策など
地震	耐震化等の対策 （1－1） （1－2）	1	図上訓練等の実施回数	防災危機管理課	防災26	2回/年	3回/年	3回/年	3回/年	100.0%	A	3回/年	災害などで訓練を中止する事態が生じなければ、計画どおり達成する見込み。
		2	県地震防災訓練参加機関・団体数	防災危機管理課	防災27	56団体/年	57団体/年	60団体/年	60団体以上/年	100.0%	A	60団体以上/年	引き続き防災関係機関に参加を呼びかけ目標達成を目指していく。
		3	介護職員初任者研修を実施した事業者数	健康長寿推進課	福祉9	16事業者/年	16事業者/年	17事業者/年	19事業者/年	89.5%	B	19事業者/年	介護の魅力発信事業などの取組を進めることで新たな介護人材の確保・定着を図ることにより、介護職員初任者研修を実施する事業者の増加を図る。
	土砂災害等による陸の孤島化対策 （1－4） （2－2） （2－6） （5－5）	4	図上訓練等の実施回数【再掲】	防災危機管理課	防災26	2回/年	3回/年	3回/年	3回/年	100.0%	A	3回/年	災害などで訓練を中止する事態が生じなければ、計画どおり達成する見込み。
		5	森林整備の実施面積	森林整備課、県有林課	森林3	6,684ha/年	6,601ha/年	6,410ha/年	6,787ha/年	94.4%	B	7,174ha/年	R元年度から面積が増加しており、目標値達成に向けて、引き続き造林・保育・間伐等の森林整備に取り組んでいく。
		6	保安林整備事業等の実施面積	治山林道課	森林4	403ha/年	462ha/年	400ha/年	500ha/年	80.0%	B	500ha/年	資材価格の高騰などの影響で伸び悩んでいるが、概ね順調に進捗しており、R10目標値を達成できる見込み。
豪雨・豪雪	土砂災害等による陸の孤島化対策	7	（上記地震と同様）										
すべての災害に関連する事項	救助・救急活動体制、保健医療救護体制の充実強化 （2－1）	8	内閣府が実施する災害マネジメント総括支援員・支援員の養成数	防災危機管理課	防災5	6人/年	10人/年	8人/年	10人/年	80.0%	B	10人/年	引き続き市町村等と連携しながら総括支援員等の養成していく。
		9	支援航空隊員の訓練実施回数	消防保安課	防災51	0回/年（年0回/1人）	0回/年（年0回/1人）	3回/年（年3回/1人）	12回/年（年6回/1人）	25.0%	C	18回/年（年6回/1人）	R6年度から隊員9人体制が通年で確立したことから、支援航空隊員への実機訓練参加をさらに働きかけていく。 特に、耐空証明検査終了後、長期的なスケジュール調整を行い、予定回数を確保する。
		10	消防設備士義務講習の受講者数	消防保安課	防災54	289人/年	315人/年	266人/年	305人/年	87.2%	B	305人/年	関係団体を通じて講習会開催を周知するなどし、目標達成を目指す。 なお、県実施の講習以外に、全国団体での講習受講も可能。（R7他団体の受講者数　42名）
		11	危険物取扱者保安講習の受講者数	消防保安課	防災54	1,156人/年	1,221人/年	1,167人/年	1,206人/年	96.8%	B	1,206人/年	関係団体を通じて講習会開催を周知するなどし、目標達成を目指す。 なお、県実施の講習以外に、全国団体での講習受講も可能。（R7他団体の受講者数　351名）
		12	災害拠点病院（11病院）の指定要件を全て満たしている病院数	医務課	福祉20	8病院	8病院	8病院	8病院	－	－	11病院	対象となる病院のうち2病院はR7年度時点で対策の実施を検討中である。残りの1病院については、今後、対応方策を具現化するための支援を行うことにより、計画期間内の目標達成を目指す。

● 達成率評価

対象となる大規模自然災害	対策名（最悪の事態）	No	重要業績指標（KPI）	所管課	施策表	初期値	実績値		目標値	R7目標値に対する達成率	評価	計画最終年度目標値（R10目標値）	計画最終年度目標値（R10目標値）達成見込み
						R5	R6	R7	R7	R7実績値/R7目標値			達成に向けた見通し、課題、方針、対策など
すべての災害に関連する事項	食料の安定供給（４－４）	13	多面的機能の保全管理に取り組む面積	農村振興課	農政9	7,518ha/年	7,518ha/年	7,493ha/年	7,577ha/年	98.9%	B	7,600ha/年	進捗状況は98.6%（R7実績値/R8目標値）となっている。組織の高齢化や人材不足による取組縮小や解散が顕在化している。目標の達成に向けて、組織の事務委託や外部人材の活用等を市町村と連携して支援する。
	エネルギー供給体制の強化（５－２）（５－３）	14	木質バイオマス燃料用木材供給量	林業振興課	森林5	96千m3/年	115千m3／年	123千m3／年	103千m3／年	119.4%	A	117千m3／年	現在、進捗状況に遅延はなく、目標達成は概ね可能である。目標達成に向け、林地に残されている未利用材の低コスト搬出や木質バイオマスボイラー等の導入を支援していく。
		15	水力発電による供給電力量	電気課	企業2	438,768,590kWh/年	493,874,917kWh/年	398,166,798kWh/年	475,732,300kWh/年	83.7%	B	462,648,000kWh/年	実績は降水量に影響されるが、発電所の停止を最小限にとどめ、目標値を達成する見通し。今後も各発電設備・施設の計画的な改修・補修と共に最大限の取水に取り組み、電力を安定的に供給していく。
	防災教育・普及啓発の推進（リスクコミュニケーション）	16	防災安全センター利用者数（出張講座等含む）	防災危機管理課	防災14	28,990人／年	34,693人／年	33,109人／年	28,000人／年	118.2%	A	34,000人／年	R7はより4.5%程利用者が減少したものの、利用者数は目標値を超えることができた。今後も出張講座のメニューの改善や回数を増やすことにより、目標値の達成を維持していく。
その他最悪の事態に係る事項	（４－６：農地・森林や生態系等の被害に伴う県土の荒廃・多面的機能の低下）	17	企業・団体の年間森づくり活動箇所数	森林整備課	森林2	82箇所/年	85箇所/年	82箇所/年	89箇所/年	92.1%	B	99箇所/年	進捗に遅延はないので、これまで同様に進めていく。
		18	森林整備の実施面積【再掲】	森林整備課、県有林課	森林3	6,684ha/年	6,601ha/年	6,410ha/年	6,787ha/年	94.4%	B	7,174ha/年	R元年度から面積が増加しており、目標値達成に向けて、引き続き造林・保育・間伐等の森林整備に取り組んでいく。
		19	木材生産量	林業振興課	森林7	212千m3/年	191千m3/年	184千m3/年	278千m3/年	66.2%	C	320千m3/年	現在の進捗状況は、新規住宅着工戸数減少の影響などから遅延しているが、目標達成に向け、建築物の木造化・木質化等により木材の需要拡大を図るとともに、需要に対応できるよう、高性能林業機械やICT機器等の導入を推進し生産性の向上を図っていく。
		20	保安林整備事業等の実施面積【再掲】	治山林道課	森林4	403ha/年	462ha/年	400ha/年	500ha/年	80.0%	B	500ha/年	資材価格の高騰などの影響で伸び悩んでいるが、概ね順調に進捗しており、R10目標値を達成できる見込み。
		21	新規就農者数（累計）	担い手・農地対策課	農政1	344人	685人	1,022人	1,050人	97.3%	B	R8 1,400人	進捗状況は97.3%（R7実績値/R7目標値）となっていいる。 他産業での人材不足等が影響する懸念はあるが、段階に応じた切れ目ない支援を継続し、目標達成を目指す。
		22	企業の農業参入件数（累計）	担い手・農地対策課	農政3	12件	25件	38件	37件	102.7%	A	R8 50件	順調に進捗しており、R8目標値を達成できる見込み。
		23	多面的機能の保全管理に取り組む面積【再掲】	農村振興課	農政9	7,518ha/年	7,518ha/年	7,493ha/年	7,577ha/年	98.9%	B	7,600ha/年	進捗状況は98.6%（R7実績値/R8目標値）となっている。組織の高齢化や人材不足による取組縮小や解散が顕在化している。目標の達成に向けて、組織の事務委託や外部人材の活用等を市町村と連携して支援する。

● 達成率評価

対象となる大規模自然災害	対策名（最悪の事態）	No	重要業績指標（KPI）	所管課	施策表	初期値	実績値		目標値	R7目標値に対する達成率	評価	計画最終年度目標値（R10目標値）	計画最終年度目標値（R10目標値）達成見込み
						R5	R6	R7	R7	R7実績値/R7目標値			達成に向けた見通し、課題、方針、対策など
その他最悪の事態に係る事項	エネルギー供給体制の強化（５－２）（５－３）	24	木質バイオマス燃料用木材供給量【再掲】	林業振興課	森林5	96千m3/年	115千m3／年	123千m3／年	103千m3／年	119.4%	A	117千m3／年	現在、進捗状況に遅延はなく、目標達成は概ね可能である。目標達成に向け、林地に残されている未利用材の低コスト搬出や木質バイオマスボイラー等の導入を支援していく。
		25	水力発電による供給電力量【再掲】	電気課	企業2	438,768,590 kWh/年	493,874,917 kWh/年	398,166,798 kWh/年	475,732,300 kWh/年	83.7%	B	462,648,000k Wh/年	実績は降水量に影響されるが、発電所の停止を最小限にとどめ、目標値を達成する見通し。今後も各発電設備・施設の計画的な改修・補修と共に最大限の取水に取り組み、電力を安定的に供給していく。
	（6－1：自然災害後の地域のより良い復興に向けた事前復興ビジョンや地域合意の欠如等により、復興が大幅に遅れ地域が衰退する事態） （6－2：災害対応・復旧復興を支える人材等の不足等により復興できなくなる事態）	26	多面的機能の保全管理に取り組む面積【再掲】	農村振興課	農政9	7,518ha/年	7,518ha/年	7,493ha/年	7,577ha/年	98.9%	B	7,600ha/年	進捗状況は98.6%（R7実績値/R8目標値）となっている。組織の高齢化や人材不足による取組縮小や解散が顕在化している。目標の達成に向けて、組織の事務委託や外部人材の活用等を市町村と連携して支援する。
		27	甲斐の国・防災リーダー養成講座（募集140名）の受講人数	防災危機管理課	防災21	115名/年	114名/年	96名/年	100名/年	96.0%	B	100名/年	避難所運営に必要な防災リーダーを継続的に確保できるよう、市町村等と連携していく。
	（6－5：貴重な文化財や環境的資産の喪失、地域コミュニティの崩壊等による有形・無形の文化財の衰退・損失）	28	森林整備の実施面積【再掲】	森林整備課、県有林課	森林3	6,684ha/年	6,601ha/年	6,410ha/年	6,787ha/年	94.4%	B	7,174ha/年	R元年度から面積が増加しており、目標値達成に向けて、引き続き造林・保育・間伐等の森林整備に取り組んでいく。
		29	保安林整備事業等の実施面積【再掲】	治山林道課	森林4	403ha/年	462ha/年	400ha/年	500ha/年	80.0%	B	500ha/年	資材価格の高騰などの影響で伸び悩んでいるが、概ね順調に進捗しており、R10目標値を達成できる見込み。

区分ごとの施策数の割合　（R8.10.30時点）

※重要業績指標71施策（再掲を除く）のうち、進捗率が算出できない施策を除く68施策についての評価結果

区分	該当施策数	割合
Ａ　：達成 （進捗100%以上）	34	50.0%
Ｂ　：概ね達成 （進捗80%以上100%未満）	15	22.1%
Ｃ　：未達成 （進捗80%未満）	19	27.9%